

令和 8 年度当初予算
令和 7 年度 2 月補正予算
の概要

建築都市部

目 次

I. 予算概要

- 令和8年度当初予算総括表
 - 主要な建設事業予算総括表
-

II. 主要事業の概要

- (1) 住みたい！鉄道沿線まちづくり推進費
 - (2) 空き家再生子育て応援費
 - (3) 未来の建設業担い手育成費
 - (4) 国際園芸博覧会出展費
 - (5) 美しいまちづくり推進費
 - (6) 建築物地震対策事業費
 - (7) 住宅流通促進費
 - (8) 街路事業費
 - (9) 都市公園整備事業費等
 - (10) 公営住宅建設費等
 - (11) 上下水道強靭化推進費
 - (12) 流域下水道建設費
-

建築都市部 令和8年度当初予算総括表

1 一般会計

(単位:千円)

款名	項(目)名	令和8年度 当初予算額 A	令和7年度 当初予算額 B	増減額 A-B	A/B (%)	令和8年度の財源内訳				令和7年度 2月補正 経済対策 C	令和8年度 16か月予算額 D=A+C	令和7年度 16か月予算額 E	増減額 D-E	D/E (%)
						国支出金	地方債	その他	一般財源					
2款 総務費		66,937	51,565	15,372	129.8	0	0	66,937	0	0	66,937	51,565	15,372	129.8
1項 総務管理費		66,937	51,565	15,372	129.8	0	0	66,937	0	0	66,937	51,565	15,372	129.8
8 諸費		66,937	51,565	15,372	129.8	0	0	66,937	0	0	66,937	51,565	15,372	129.8
8款 県土整備費		25,655,495	24,196,195	1,459,300	106.0	7,533,749	10,264,200	2,306,084	5,551,462	2,126,625	27,782,120	26,264,887	1,517,233	105.8
1項 県土整備企画費		1,824,220	1,627,001	197,219	112.1	47,467	15,100	709,902	1,051,751	0	1,824,220	1,697,371	126,849	107.5
3 建築総務費		1,393,418	1,305,209	88,209	106.8	0	0	536,064	857,354	0	1,393,418	1,305,209	88,209	106.8
4 建設業指導監督費		199,711	147,262	52,449	135.6	17,840	0	111,943	69,928	0	199,711	147,262	52,449	135.6
5 建築指導費		231,091	174,530	56,561	132.4	29,627	15,100	61,895	124,469	0	231,091	244,900	△ 13,809	94.4
5項 都市計画費		17,255,414	16,685,553	569,861	103.4	4,863,785	6,586,000	1,595,116	4,210,513	2,126,625	19,382,039	18,683,875	698,164	103.7
1 都市計画総務費		3,098,908	2,719,193	379,715	114.0	1,095,100	1,437,406	3,595	562,807	0	3,098,908	2,847,182	251,726	108.8
2 土地区画整理費		496,800	644,400	△ 147,600	77.1	248,400	165,600	82,800	0	564,463	1,061,263	644,400	416,863	164.7
3 街路事業費		7,206,055	7,301,863	△ 95,808	98.7	2,647,200	3,136,726	1,359,035	63,094	1,400,076	8,606,131	9,128,863	△ 522,732	94.3
4 公園費		4,155,754	3,808,168	347,586	109.1	858,053	1,846,268	142,858	1,308,575	162,086	4,317,840	3,851,501	466,339	112.1
5 流域下水道事業費		2,236,424	2,165,334	71,090	103.3	0	0	0	2,236,424	0	2,236,424	2,165,334	71,090	103.3
6 水道整備費		54,645	39,707	14,938	137.6	15,032	0	0	39,613	0	54,645	39,707	14,938	137.6
7 都市計画開発行為許可事務費		6,828	6,888	△ 60	99.1	0	0	6,828	0	0	6,828	6,888	△ 60	99.1
6項 住宅費		6,575,861	5,883,641	692,220	111.8	2,622,497	3,663,100	1,066	289,198	0	6,575,861	5,883,641	692,220	111.8
1 住宅管理費		324,973	326,496	△ 1,523	99.5	92,366	0	848	231,759	0	324,973	326,496	△ 1,523	99.5
2 住宅建設費		6,250,888	5,557,145	693,743	112.5	2,530,131	3,663,100	218	57,439	0	6,250,888	5,557,145	693,743	112.5
11款 災害復旧費		65,934	0	65,934	皆増	0	65,900	0	34	0	65,934	0	65,934	皆増
3項 庁舎等災害復旧費		65,934	0	65,934	皆増	0	65,900	0	34	0	65,934	0	65,934	皆増
1 庁舎等災害復旧費		65,934	0	65,934	皆増	0	65,900	0	34	0	65,934	0	65,934	皆増
一般会計計		25,788,366	24,247,760	1,540,606	106.4	7,533,749	10,330,100	2,373,021	5,551,496	2,126,625	27,914,991	26,316,452	1,598,539	106.1

※本庁組織再編のため、令和8年度当初予算の「諸費」及び「水道整備費」は県土整備部から移管している。また、「水道整備費」は令和8年度当初予算の款項目をベースとして令和7年度当初予算の款項目を整理している。

2 特別会計

(単位:千円)

会計名	令和8年度 当初予算額 A	令和7年度 当初予算額 B	増減額 A-B	A/B (%)	令和8年度の財源内訳				令和7年度 2月補正 経済対策 C	令和8年度 16か月予算額 D=A+C	令和7年度 16か月予算額 E	増減額 D-E	(A+C)/D (%)
					国支出金	地方債	その他	一般財源					
住宅管理特別会計	6,866,175	6,870,321	△ 4,146	99.9	0	0	6,866,175	0	0	6,866,175	6,870,321	△ 4,146	99.9

3 公営企業会計

(単位:千円)

会計名	令和8年度 当初予算額 A	令和7年度 当初予算額 B	増減額 A-B	A/B (%)	令和8年度の財源内訳				令和7年度 2月補正 経済対策 C	令和8年度 16か月予算額 D=A+C	令和7年度 16か月予算額 E	増減額 D-E	(A+C)/D (%)
					国支出金	地方債	その他	一般財源					
流域下水道事業会計	34,832,309	34,952,668	△ 120,359	99.7	5,777,517	4,559,400	24,495,392	0	2,596,763	37,429,072	36,838,424	590,648	101.6
合計(一般会計+特別会計+公営企業会計)	67,486,850	66,070,749	1,416,101	102.1	13,311,266	14,889,500	33,734,588	5,551,496	4,723,388	72,210,238	70,025,197	2,185,041	103.1

※流域下水道事業会計:令和8年度当初予算における収支差39,139、財源内訳中「その他」は負担金、内部留保資金等。

4 債務負担行為

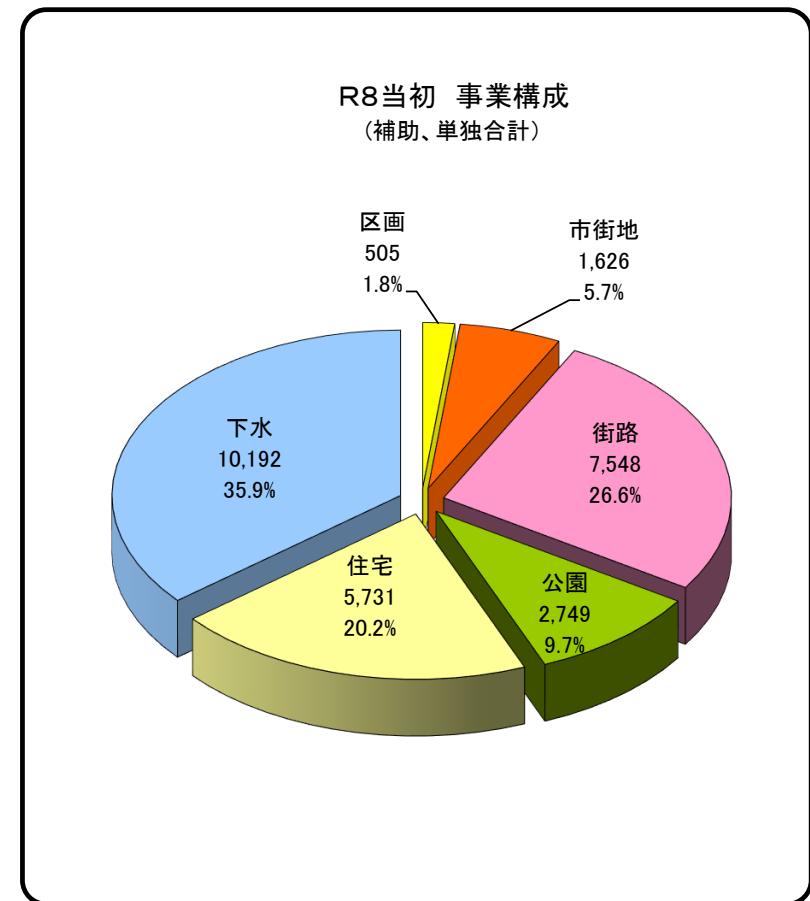
(単位:千円)

一般会計・公営企業会計 合計	13,364,288	14,357,920	△ 993,632	93.1	7,238,285	4,731,200	1,347,765	47,038	一般会計	6,471,288
									公営企業会計	6,893,000

○主要な建設事業予算総括表

(単位:百万円)

	R8 当初 a	R8 16ヶ月 (R8当初+ R7経済対策) b	R7 当初 c	R7 16ヶ月 (R7当初+ R6経済対策) d	伸率	
					a/c	b/d
補助	25,101	29,782	23,679	27,478	106.0%	108.4%
	土地区画整理	505	1,070	655	77.1%	163.4%
	市街地再開発	1,626	1,626	1,308	124.3%	124.3%
	街路	5,385	6,785	5,118	105.2%	96.5%
	公園	1,751	1,870	1,629	107.5%	114.8%
	住宅建設	5,731	5,731	5,042	113.7%	113.7%
	下水道(公営企業)	10,103	12,700	9,927	101.8%	107.5%
単独	3,250	3,250	3,328	3,328	97.7%	97.7%
	土地区画整理	0	0	0	—	—
	街路	2,163	2,163	2,325	93.0%	93.0%
	公園	998	998	912	109.4%	109.4%
	下水道	89	89	91	97.8%	97.8%
補助+単独 計	28,351	33,032	27,007	30,806	105.0%	107.2%
	土地区画整理	505	1,070	655	77.1%	163.4%
	市街地再開発	1,626	1,626	1,308	124.3%	124.3%
	街路	7,548	8,948	7,443	101.4%	95.6%
	公園	2,749	2,868	2,541	108.2%	112.9%
	住宅建設	5,731	5,731	5,042	113.7%	113.7%
	下水道(公営企業)	10,192	12,789	10,018	101.7%	107.4%



(新) (1) 住みたい！鉄道沿線まちづくり推進費 8,741 千円

(担当課：都市計画課)

【事業目的】人口減少と少子高齢化が進行するなか、鉄道やバスなどを介する広域的な圈域で、地域の特色を活かしながら都市機能を再生することで、地域活性化と定住促進を図る。

【事業概要】

○ 地域特性を活かした広域的な鉄道沿線まちづくりの推進

8,741 千円

嘉飯、柏屋、遠賀の3圏域において、広域的な視点から県が主導し、鉄道事業者や隣接市町などの関係者と連携して検討会を開催し、各圏域が目指すまちづくりビジョンを策定する。

この取組により、市町単位ではなく複数の市町が都市機能の連携を図る広域的なまちづくりを推進することで、持続可能な都市の実現に向けたモデル構築を目指す。

『構築モデルとまちづくりのイメージ』

構築するモデル	取組エリア	想定されるまちづくり
核となる市町と周辺市町の連携モデル	嘉飯圏域 (飯塚・嘉麻・桂川)	医療、福祉、子育て支援機能を3市町で相互に補完することで、健康寿命の延伸を図り人口減少を抑制する
沿線市町の地域特性を踏まえた機能分担モデル	柏屋圏域 (柏屋・篠栗)	エリア特性や災害想定を踏まえ都市機能を分担することで、安全で安心して暮らせるまちを目指す
駅のない市町と駅のある市町の結節モデル	遠賀圏域 (遠賀・芦屋)	駅周辺における子育て支援機能の拡充により、町外からの駅利用者にとっても子育てしやすいまちを実現する

[取組内容]

①課題の抽出

- ・地域特性調査、ワークショップ等の実施

②検討会の開催

- ・先行事例の研究
- ・まちづくりの方向性、取組テーマの決定
- ・まちづくりビジョンの作成
- ・鉄道沿線まちづくり協議会の設置

③意識啓発

- ・実例紹介や今後の取組方針に関する講習会を実施

※鉄道沿線まちづくり

鉄道沿線という広域的な観点から、交通結節点である駅周辺への都市機能の誘導等により、持続可能な都市構造の実現を図る手法

【事業目的】近年の住宅価格の高騰と空き家の増加を踏まえ、市町村及び買取再販事業者と連携し、空き家を若年・子育て世帯にとって魅力的で手頃な価格の住宅に再生することで、子育て世帯等の住宅取得を応援し定住を促進する。

【事業概要】

○ 空き家の再生により若年・子育て世帯の住宅取得を応援して定住促進を図るモデル事業

(民間事業者による空き家流通が活発な政令市・中核市等以外の市町村と連携して実施)

①利活用可能な空き家を抽出するための現況調査

15,798千円

市町村が所有する空き家情報を活用し、売却意向のある空き家の現況調査を委託

- ・調査件数：210件

- ・調査内容：建物の劣化具合、家財の有無、土地・建物の権利関係 等

②相続などの手続きを後押しするための支援

12,000千円

空き家の売却が進まない所有者を後押しするため、相続、登記、測量に要する費用に対して補助

- ・補助件数：40件
- ・補助率：1/2
- ・補助上限：300千円

意向調査

<市町村>
市町村が把握している空き家所有者に対して、本事業への参加意向を確認



空き家の現況調査

<宅建業団体>
空き家の物件情報を整理
<買取再販事業者※>
整理された情報をもとに買取再販の可否を検討



手続き費用の補助

<市町村・県>
市町村を通じて、空き家所有者の相続等に係る手続き費用に対して補助



買取・リフォーム・販売

<買取再販事業者※>
若年・子育て世帯が住みたい家にリフォームして販売



*買取再販事業者：中古住宅を買取・リフォームして、新たな価値を付加して販売する事業者（県と協定を締結して本事業を実施）

③空き家情報管理システム改修

3,956千円

空き家情報を県と市町村が共同で入力、管理するためのシステム改修

【事業目的】 建設業の担い手確保のため、建設業のやりがいを楽しく体験することも向けプログラムを実施することにより、建設業界に興味を持ってもらい、進路意識の醸成につなげていく。

【事業概要】

○ キッザニア福岡内に建築工事の体験型パビリオンを設置 28,144 千円

【対象：幼児・小学生】

- ・幼児・小学生向けの体験内容（※）の企画監修、パビリオンの設置、運営、広報等の業務をキッザニアに委託
- （※）体験内容イメージ
 - 幼児：建築現場で、工具のおもちゃ等を使い、建築職人の仕事を体験
 - 小学生：大工・左官・設備等の各現場で、工具等を使い、各工種の作業を体験
- ・プログラム期間：2週間
- ・参加者数：2,000人程度



© KCJ GROUP
※キッザニア甲子園での体験の様子

○ 建設現場と連携した体験型プログラムを実施 6,586 千円

【対象：中学生】

- ・中学生向けの体験内容（※）の企画監修、広報等の業務をキッザニアに委託
建築現場は県で準備（新県立美術館等を想定）
- （※）体験内容イメージ
 - 現場見学、VRによる各工程の疑似体験、最新の測量機器・工具等の体験、年齢が近い若手技術者との意見交換
- ・プログラム期間：2日間（県内1か所×2回）
- ・参加者数：60人程度（1回30人×2回）



体験型パビリオンのイメージ

(4) 国際園芸博覧会出展費 101,650 千円 (2,801 千円)

(担当課：公園街路課)

【事業目的】2027年国際園芸博覧会に「未来へつなぐワンヘルス」、「福岡県の魅力」をキーワードに県独自の庭園を出展し、花あふれる美しいまちづくり、造園・花きなどの地域産業の振興や本県への誘客を図る。

【事業概要】

○ 出展作品の設計、施工等

令和9年3月からの出展に向けた作品の設計、施工（出展区画面積：150 m²）

<出展作品>

出展コンセプト、作品イメージ、会期後の利活用方法について、公募によりデザイナーから提案を求める。出展コンセプトについては、「未来へつなぐワンヘルス」「福岡県の魅力」を踏まえた内容とし、来場者に向けてPRを実施する。

<実施スケジュール>

期間	実施内容
令和8年1月19日～3月31日	公募期間
令和8年4月1日～4月30日	デザイナーの審査、候補者の決定
令和8年5月～令和9年3月	設計、施工
令和9年3月19日～9月26日	博覧会会期



▲会場図（旧上瀬谷通信施設（横浜市））



▲公式ロゴマーク

公式マスコットキャラクター（トゥンクトゥンク）

【2027年国際園芸博覧会の概要】

期 間：2027年（令和9年）3月19日～9月26日

場 所：神奈川県横浜市（上瀬谷）

種 別：A1（最上位）クラスの博覧会

主 催：（公社）2027年国際園芸博覧会協会

テー マ：「幸せを創る明日の風景」

※日本では「1990年（平成2年）大阪花の万博」以来、2回目の開催

(5) 美しいまちづくり推進費 111,255千円 (107,236千円)

(担当課：都市計画課)

【事業目的】「花による美しいまちづくり」は、行政だけでなく地域が一体となり、まちの身近な生活空間を花や草木により彩ることで、誰もが住みたいと思うまちづくりを行う取組である。この取組を推進し、地域の景観向上、地域コミュニティの活性化及び県産花きの消費拡大を目指す。

【事業概要】

① 「花による美しいまちづくりのコーディネーター」による

講演会、セミナーを開催

7,143千円 (6,804千円)

花によるまちづくりの実績があるコーディネーターによる講演会やセミナーの開催を通じて地域の関心を高め、花による美しいまちづくりを推進



コーディネーターによる
講演会開催状況

② 「花による美しいまちづくり」モデル地域を整備 29,222千円 (16,593千円)

・JR日田彦山線BRT沿線地域

R7：東峰村宝珠山駅周辺の花あふれる景観づくり

R8：東峰村大行司駅、筑前岩屋駅周辺の花あふれる景観づくり

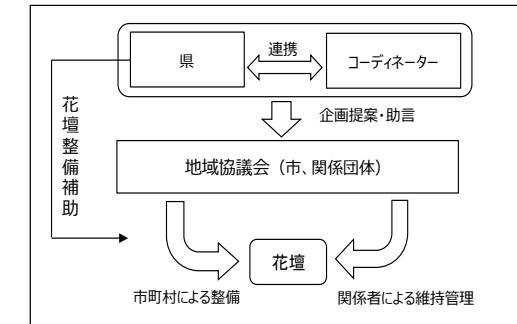
・朝倉市原鶴温泉周辺地域

R7：鶴のモニュメント周辺の花壇整備

R8：原鶴温泉地域内公園周辺の花による魅力ある景観づくり

・柳川市川下りコース等

R7、R8：川下りコース沿線の花による魅力ある景観づくり



モデル地域創出の
事業スキーム



モデル地域における
花壇整備
(柳川市)



コーディネーターによる
セミナー開催状況
(春日市)



福岡県花による
美しいまちづくり
ロゴマーク

③ 県施設や県営公園の花壇等を整備

38,073 千円 (42,797 千円)

- ・県庁舎、来場者が多い施設などにフラワーボックス等を設置

R7：県庁舎、九州国立博物館、福岡武道館など 計 13箇所

R8：県庁舎、単独庁舎、道の駅など 計 31箇所を予定

- ・県営都市公園に花壇及び灌水装置を整備

R7：大濠公園、天神中央公園、中央公園、春日公園の花壇及び灌水装置の整備

R8：大濠公園の花壇及び灌水装置の整備

④ 担い手拡大のための支援

1,200 千円 (2,850 千円)

パートナー花壇管理のボランティア団体に対する助成

⑤ 県民等によるパートナー花壇・企業によるおもてなし花壇

30,191 千円 (36,695 千円)

パートナー花壇：ボランティア団体等が管理する花壇を市町村が整備する費用の助成

おもてなし花壇：市町村が企業からの協賛金をもとに管理する花壇の整備費用の助成

⑥ 啓発物の作成・配布、割引証明書の発行、ホームページ運用等

5,426 千円 (1,497 千円)



フラワーボックス
の設置状況
(県庁舎)



花壇の整備状況
(福岡武道館)



おもてなし花壇
整備
(岡垣サンリーアイ)

福岡県花による美しいまちづくりのイメージ

市町村へ花壇整備
費用の助成

地域が一体となって
花を大切にしていく
サイクルを作る

地域の景観向上
地域のコミュニティの活性化
県産花きの消費拡大

(6) 建築物地震対策事業費 107,211 千円 (106,568 千円)

(担当課：建築指導課、住宅計画課)

- 【事業目的】**・大規模な地震の発生に備えて、県民の耐震化に対する一層の意識向上を図り、「地震に強い安全・安心な福岡のまちづくり」の実現に向けて住宅・建築物の耐震化を促進する。
・災害時における通学路や避難路等の安全と通行を確保するため、地震による倒壊の危険性が高いブロック塀の撤去を促進する。

【事業概要】

① 耐震化の普及啓発推進 32,660 千円 (31,657 千円)

ステップ① 動機付け	●ホームページ、パンフレット、Web 広告等による情報発信	ステップ② 誘導	●耐震診断アドバイザー派遣の実施
	●耐震相談窓口における住まいの耐震化教室、耐震セミナーの実施		●ふるさと納税返礼品の活用 県外居住の子世代向けに耐震診断無料券を返礼品に追加 県内の実家等に利用者負担なしでアドバイザーを派遣
			●民間事業者団体による普及啓発活動への助成
			●事業者向け技術研修、低成本工法講習の開催

② 耐震改修費・除却費の助成 60,311 千円 (60,311 千円)

ステップ③ 実施	●耐震・省エネ化改修工事費補助 (実施主体) 市町村 (補助件数) 160 件 (対象経費) 耐震化かつ省エネ化に要する工事費 (補助額) 対象工事費の 1/4 以内 上限額 53.7 万円	●除却費補助 (実施主体) 市町村 (補助件数) 85 件 (対象者) 空き家の相続人又は購入した移住者 建替・住替を行う居住者 (補助額) 対象工事費の 23% 以内、 上限額 30 万円
-------------	--	---

③ ブロック塀等撤去費補助事業 14,240 千円 (14,600 千円)

(実施主体)	市町村
(補助件数)	356 件
(対象経費)	道路に面する著しく危険なブロック塀等の撤去に要する費用
(補助額)	市町村負担の 1/2 (上限額 4 万円)

※ () 内は令和 7 年度当初予算と
令和 6 年度 2 月経済対策補正予算の合計

(7) 住宅流通促進費

62,919 千円 (78,416 千円)

(担当課：住宅計画課)

【事業目的】・若年世帯、子育て世帯に対して子育てしやすい既存住宅の取得を支援する。

- 既存住宅の流通を促進するとともに、空き家の活用・処分の促進と発生抑制、県外からの移住増加を図る。

【事業概要】

① 市町村の空き家活用相談対応への支援

30,189 千円 (31,453 千円)

「福岡県空き家活用サポートセンター」(イエカツ)の運営

(イ) イエカツにおける相談支援、出張相談会の開催

(ロ) 空き家の活用・処分を促進するための普及・啓発

※令和6年度相談実績：532件



② 既存住宅の建物状況調査費補助

7,480 千円 (7,640 千円)

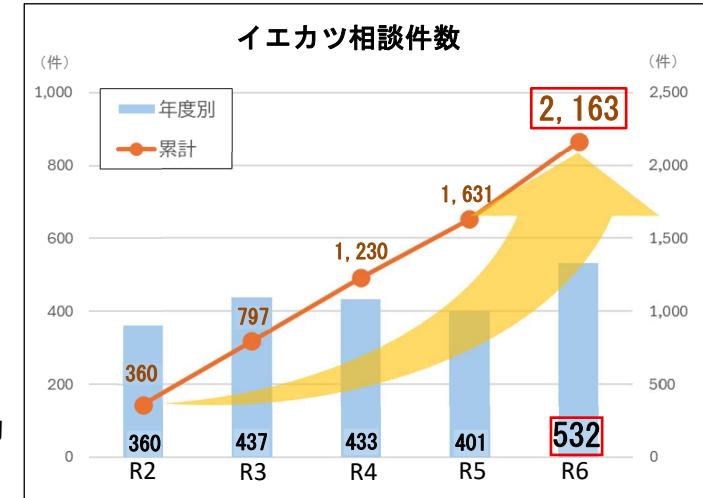
既存住宅の売買取引を安心して行うための建物状況調査「住まいの健康診断」に対する補助

・補助対象：既存住宅の買主、または売主

・補助件数：282件

・補助額：[買主] 若年世帯・子育て世帯の場合 44千円 左記以外の者の場合 10千円

[売主] 遠方に居住する所有者の場合 20千円 左記以外の者の場合 10千円



③ 若い世帯へのリノベーション工事費補助

25,250 千円 (39,323 千円)

若年世帯、子育て世帯が購入した既存住宅や、同居する親世帯の持家を子育てしやすくリノベーションする工事に対する補助

県外からの移住世帯には、補助率・補助上限を引き上げ

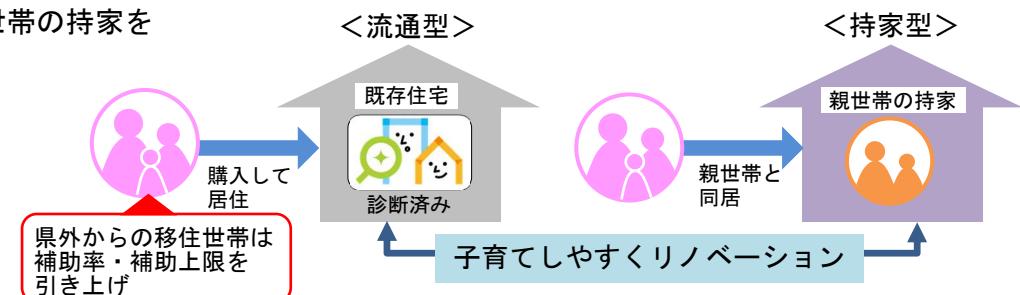
・補助対象：若年世帯、子育て世帯

・補助要件：移住支援金の実施市町村に移住すること

・補助件数：43件（うち県外からの移住世帯分 15件）

・補助率：1/3（県外からの移住世帯は1/2）

・補助上限：500千円（県外からの移住世帯は750千円）



(8) 街路事業費

[2月補正]

7,548,160千円 (7,331,946千円)
1,400,076千円

(担当課:公園街路課)

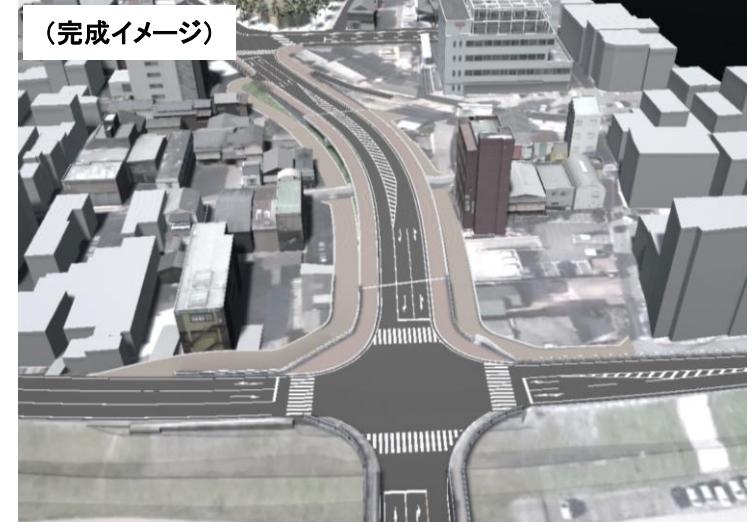
・道路改築事業

[2月補正]

5,410,703千円 (4,454,369千円)
562,380千円

- ・都市計画区域内の交通の円滑化、地域間の連携推進
新飯塚潤野線(飯塚市)
長浜太宰府線(春日市) ほか16路線

新飯塚潤野線 道路改築事業



・交通結節点改善事業

672,216千円 (324,660千円)

- ・道路と鉄道等との結節機能向上のためのアクセス道路の整備
宗像福間線(宗像市) ほか1路線

・連続立体交差事業、踏切除却改良事業

[2月補正]

1,242,650千円 (2,348,849千円)
837,696千円

- ・慢性的な交通渋滞及び踏切事故の解消のために鉄道との立体交差化を実施
西鉄天神大牟田線[春日原～下大利](春日市、大野城市)
久留米駅南町線(久留米市)

西鉄天神大牟田線(春日原～下大利) 連続立体交差事業

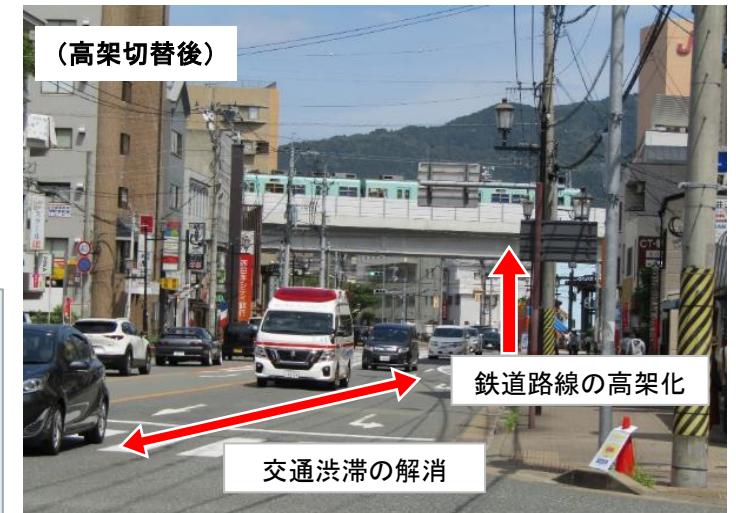


改良後

○踏切除却による交通渋滞の解消

※朝ピーク時の踏切遮断時間
1時間あたり【最大 39分】→【0分】

○踏切事故の解消



(9) 都市公園整備事業費等

(担当課：公園街路課)

○都市公園整備事業費

2,750,196千円 (2,541,908千円)

[2月補正] 119,420千円

- ・ 県営都市公園の整備
レクリエーション活動、健康増進活動、災害時避難場所等の機能を有する都市公園の整備の推進
筑後広域公園(筑後市、みやま市)、西公園(福岡市) ほか7公園
- ・ 筑豊緑地にスポーツクライミング施設を整備
オリンピック種目として競われたスポーツクライミング「ボルダリング」「リード」「スピード」の三種類を備えた県内唯一の施設整備に向け、造成工事を実施

○県営公園維持管理事業費

1,261,657千円 (1,212,027千円)

- ・ 県営都市公園の適切な管理の実施
大濠公園(福岡市) ほか8公園

○直轄公園事業費負担金

114,150千円 (116,598千円)

[2月補正] 42,666千円

- ・ 国営海の中道海浜公園の整備に対する負担金

筑豊緑地：スポーツクライミング（整備イメージ）



筑豊緑地：インクルーシブな遊具広場（大屋根広場）



インクルーシブ遊具

（県営公園3公園にて整備済、3公園にて整備中）



(10) 公営住宅建設費等

①公営住宅建設費

老朽化した県営住宅の建替等を行う。

5,069,605千円 (3,787,660千円)

(建設戸数(継続) : 73戸)

(建設戸数(新規) : 370戸)

②公営住宅ストック総合改善事業費

既設県営住宅の有効活用を図る外壁改修等の長寿化改善、子育てしやすい間取りの変更等住戸内改修の子育て支援型改善を行う。

588,819千円 (1,115,706千円)

(改善戸数(継続) : 404戸)

(改善戸数(新規) : 253戸)

③庁舎等災害復旧費（県営住宅課所管）

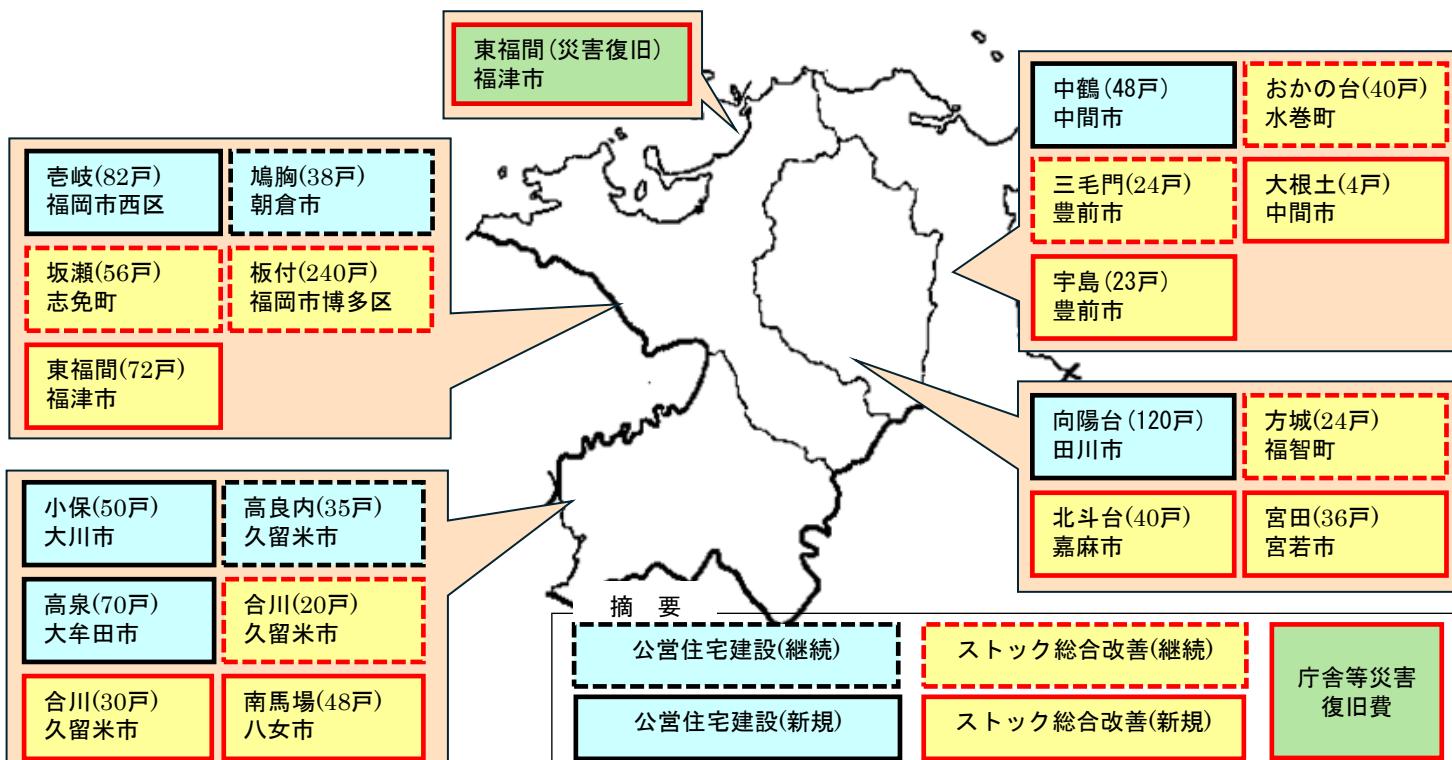
豪雨により崩壊した県営住宅の法面の復旧を行う。

65,934千円 (0千円)

④住宅管理特別会計 県営住宅維持管理費

県営住宅28,266戸の維持管理に要する経費。

4,453,277千円 (4,191,743千円)



中鶴団地（建替事業）

○着手前



○着手後



〈建替〉

東福間団地（災害復旧）



(11)上下水道強靭化推進費

715,503 千円 (445,000 千円)

(担当課:上下水道課、上下水道課上水道事業室)

※次項掲載の「上下水道耐震化計画に基づく施設改修費」を含む

【事業目的】

取水から排水まで一連の上下水道機能を確保するため、上下水道一体での耐震化対策及び効率的な老朽化対策を推進する。

【事業概要】

持続可能な上下水道に向けて、効率的な老朽化対策のための広域化や新技術の導入、災害に備えた上下水道一体での体制強化や耐震化を推進します。

①広域化シミュレーションを実施

30,066千円 (0千円)

- ・水道事業者の新たな枠組で広域連携シミュレーションを実施するとともに、現行の「福岡県水道広域化推進プラン」を改定

②人工衛星やAIを活用した漏水調査導入に向けた研修会

86千円 (0千円)

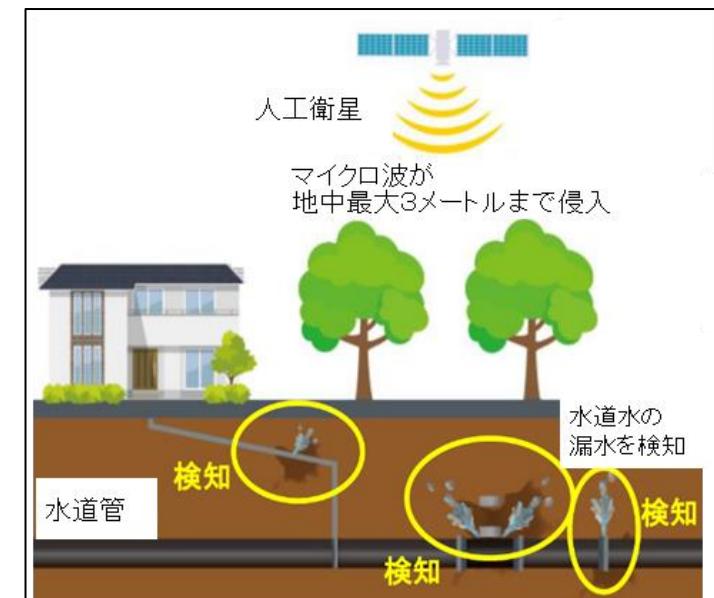
- ・水道事業者による【衛星による漏水検知】や【衛星やAIを活用した管路リスク診断】について、共同発注を支援

③上下水道デジタル地図を活用した、

発災時に迅速な初動対応を行うための研修会

151千円 (0千円)

- ・避難所などの重要施設や上下水道施設の情報を集約したデジタル地図の災害時の活用方法について、上下水道事業者への研修会を実施



衛星による漏水検知

(12) 流域下水道建設費 10,102,546 千円 (9,926,541 千円) 【流域下水道事業会計】 (担当課：上下水道課)
[2月補正] 2,596,763 千円

【事業目的】

公共用水域の水質保全、快適で衛生的な生活環境の実現などを図るため、流域下水道の老朽化対策及び耐震化を行う。

【事業実施箇所】

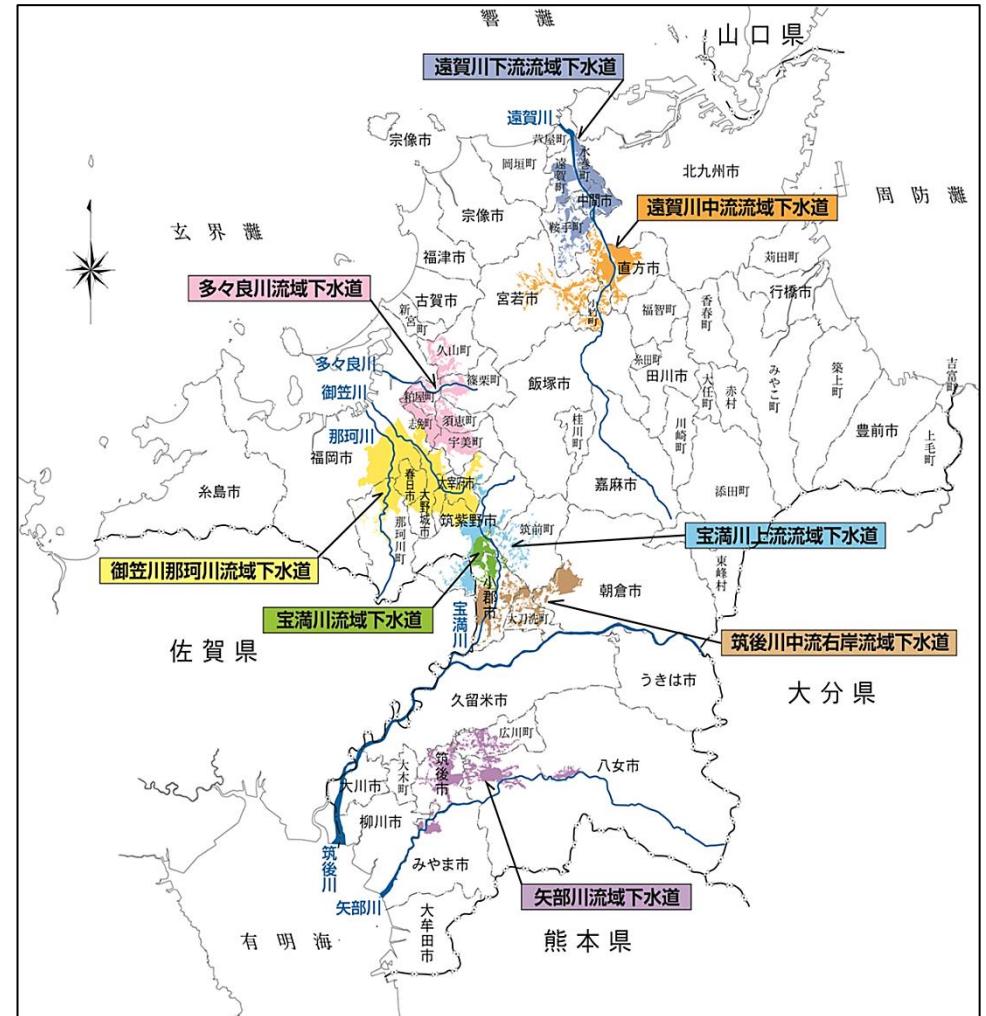
御笠川那珂川流域下水道ほか7流域下水道

【主な事業】

- ・御笠川那珂川流域幹線管渠の改築
- ・御笠川浄化センターほか6処理場における水処理施設の更新
- ・上下水道耐震化計画に基づく施設改修



御笠川浄化センター



福岡県流域下水道事業箇所図